

掲示開始日 2022年11月1日

作成日 2022年10月10日

研究情報公開文書 1.2版

臨床研究実施のお知らせ

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院腎臓内科では、文部科学省、厚生労働省および経済産業省が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、以下の臨床研究を実施します。利益相反の状況についてはNCGM利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理しております。利益相反に該当する事実はございません。この研究への参加を希望されない場合には、下記の問い合わせ先にご連絡ください。ご連絡いただいた方について、研究不参加とさせていただきます。研究に参加されなくても、診療への支障などを含め、いかなる不利益もありません。

■ 研究課題名

血液透析患者の緊急導入における身体的・社会的因子の探求

■ 研究の意義・目的・方法

末期腎不全の透析導入について、緊急で導入する場合、予定導入の場合よりも具合が悪くなりやすいことが知られています。また、導入後の患者様の生活の質は、予定導入の方が高いと報告されております。2014年4月～2022年3月の期間、当院において、透析導入を行った症例のデータをもとに、緊急透析導入となった症例の身体的および社会的な背景を調査しま

す。緊急透析導入となる背景因子を見つけることで、緊急導入を減らすための対策が提案可能になるのではないかと考えております。

■ 研究の期間

倫理審査委員会承認後～2024年3月31日

■ 研究の対象となる方

2014年4月～2022年3月までに血液透析を新規に導入した患者

■ ご協力いただく内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報（例；病歴、カルテ番号、生年月日、生活保護、医療保険、同居家族、身寄りの有無、腎臓内科紹介から導入までの日数、透析導入時の入院日数および、採血・尿：アルブミン、ヘモグロビン、ナトリウム、カリウム、リン、尿蛋白等）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報に厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■ 研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくか、文書でお渡しすることができます。希望される方は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたあなたの情報は、当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。希望される方は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

■研究責任者：

(所属) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
腎臓内科 透析室統括医
(氏名) 片桐大輔

■問い合わせ先

機関名 国立国際医療研究センター病院
住所 東京都新宿区戸山1-21-1
電話 03-3202-7181 (代表)
担当部署 国立国際医療研究センター 腎臓内科
担当者氏名 片桐大輔
メールアドレス dkatagiri@hosp.ncgm.go.jp

本文書のコピー（印刷）をお渡しできます。希望される方は上記までご連絡ください。